

ハードウェアプロテクタ取り扱い説明書  
ネットワーク・スタンドアロン版

2019.10



# 目次

<b>1.</b>	<b>はじめに</b>	<b>1</b>
1.1	ハードウェアプロテクタの概要	1
<b>2.</b>	<b>スタンドアロン版</b>	<b>2</b>
2.1	ハードウェアプロテクタの接続	2
2.2	プロテクトドライバについて	3
2.2.1	プロテクトドライバの導入方法	3
2.2.2	プロテクトドライバのアンインストール方法	6
<b>3.</b>	<b>ネットワーク版</b>	<b>10</b>
3.1	ハードウェアプロテクタの接続	7
3.2	ライセンスマネージャ及びデバイスドライバについて	8
3.2.1	ライセンスマネージャについて	8
3.2.2	デバイスドライバについて	8
3.2.3	ライセンスマネージャ・デバイスドライバの導入方法	9
3.2.4	ライセンスマネージャ・ドライバのアンインストール方法	15
3.2.5	ライセンスマネージャの起動確認	15
3.3	MONITORについて	16
3.3.1	MONITORのインストール方法	16
<b>4.</b>	<b>アプリケーションの設定</b>	<b>27</b>
4.1	ライセンス認証方法の選択	20
4.2	エラーの対処 (スタンドアロン版)	22



## 1. はじめに

---



## 1.1 ハードウェアプロテクタの概要

弊社アプリケーションには、プロテクトがかけられていますので、アプリケーションを動作させるには、ハードウェアプロテクタをコンピュータの平行ポートあるいは、USB コネクタに接続する必要があります。そのため弊社では、2種類(スタンドアロン版・ネットワーク版)のハードウェアプロテクタを用意しています。

スタンドアロン版は、単一のコンピュータにハードウェアプロテクタを接続し、そのコンピュータのみで弊社アプリケーションを動作させるものです。

ネットワーク版は、あるコンピュータをサーバーとして設置し、そのコンピュータにハードウェアプロテクタを接続します。アプリケーションは、LAN で接続されているクライアントのコンピュータにインストールします。アプリケーションを起動すると、LAN を経由してサーバーに起動許可を求めます。サーバーは、起動許可を求めるアプリケーションが起動可能な状態であれば、起動許可をだし、アプリケーションが起動されます。





## 2. スタンドアロン版

---



## 2.1 ハードウェアプロテクタの接続

### 《注意事項》

USB タイプのハードウェアプロテクタをご使用の場合はハードウェアプロテクタを接続する前に、プロテクトドライバを必ずインストールして下さい。

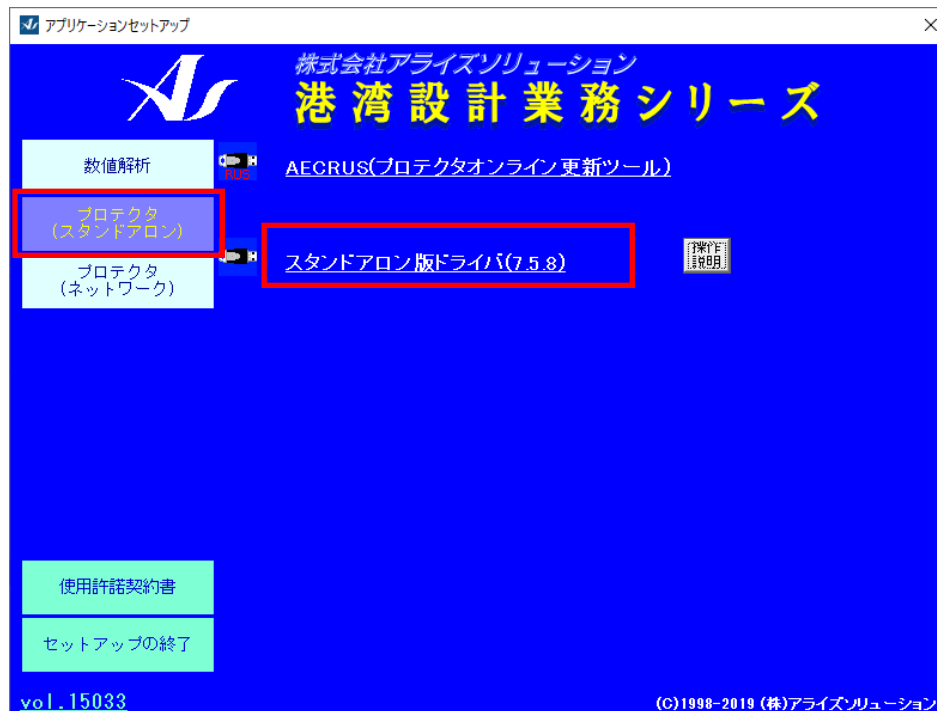
スタンドアロン版には、SafeNet 社製ハードウェアプロテクタを用いています。アプリケーションを動作させるコンピュータに接続して下さい。

## 2.2 プロテクトドライバについて

### 2.2.1 プロテクトドライバの導入方法

弊社アプリケーションのCD-Rを挿入して下さい。自動的にセットアッププログラムが起動します。もしも自動的に起動しない場合は、Windows のスタートボタンをクリックし、《ファイル名を指定して実行》で「Q:AUTORUN.EXE」を入力し、リターンキーを押して下さい。(Q は、CD-ROM 装置のドライブ)

画面例) 港湾設計業務シリーズ

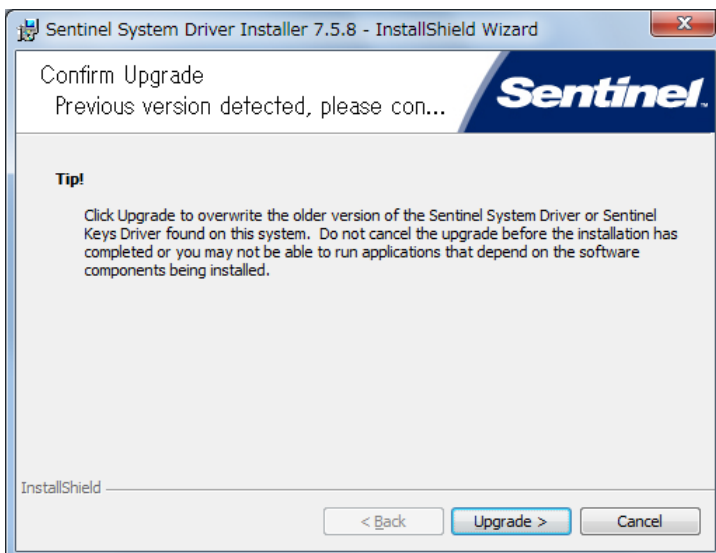


「プロテクタ(スタンドアロン)」に、マウスカーソルを移動し左ボタンをクリックして下さい。引き続き、「スタンドアロン版ドライバ(7.5.8)」に、マウスカーソルを移動し左ボタンをクリックして下さい。スタンドアロン版インストールプログラムが起動します。ドライバのインストール確認メッセージが表示されますのでインストールを続行する場合、「OK」ボタンをマウスでクリックして下さい。インストールが開始されます。

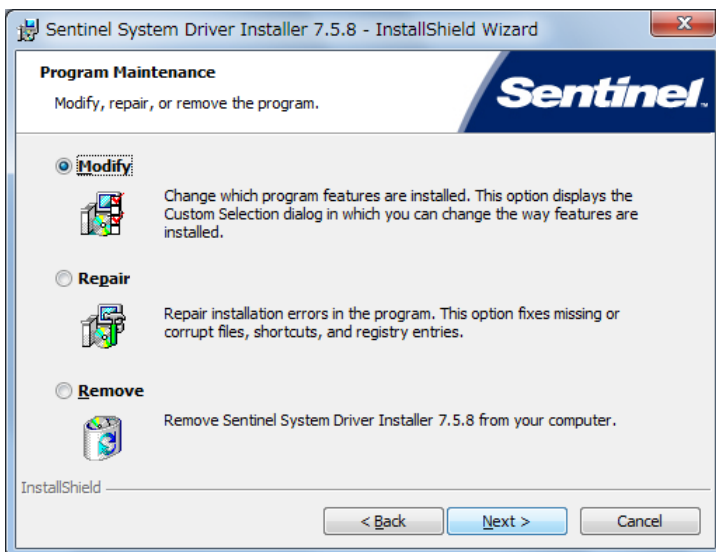
**※インストール完了まで Sentinel SuperPro USB キーを接続しないでください。**



インストールウィザードが起動し、導入画面が起動します  
「Next」をクリックします。



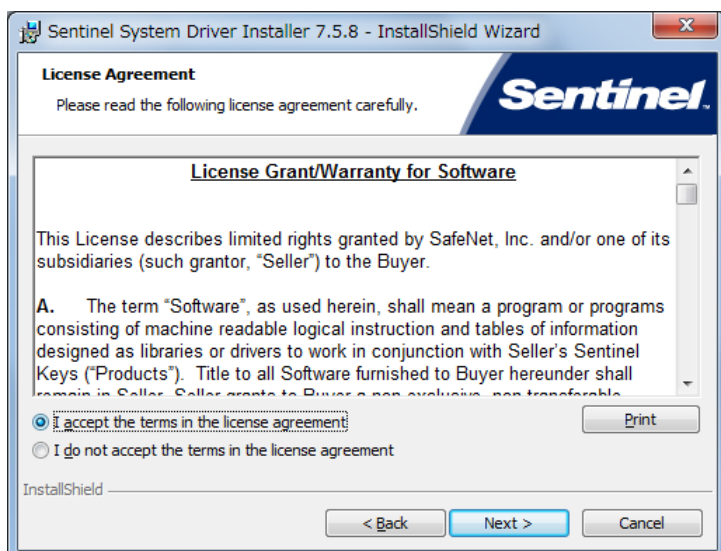
旧バージョンの Sentinel System Driver を認識した場合、先述の導入画面の前に以下のアップグレードを確認する画面が表示されます。  
「Upgrade」をクリックします。



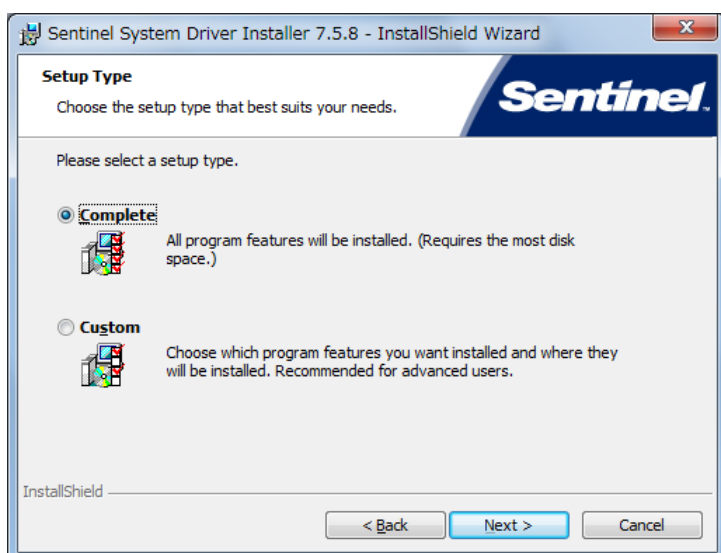
既に 7.5.8 のドライバがインストールされている場合、導入画面の後にドライバメンテナンス画面が表示されます。

メンテナンスが必要であれば、「Cancel」ボタンでインストールを終了して下さい。

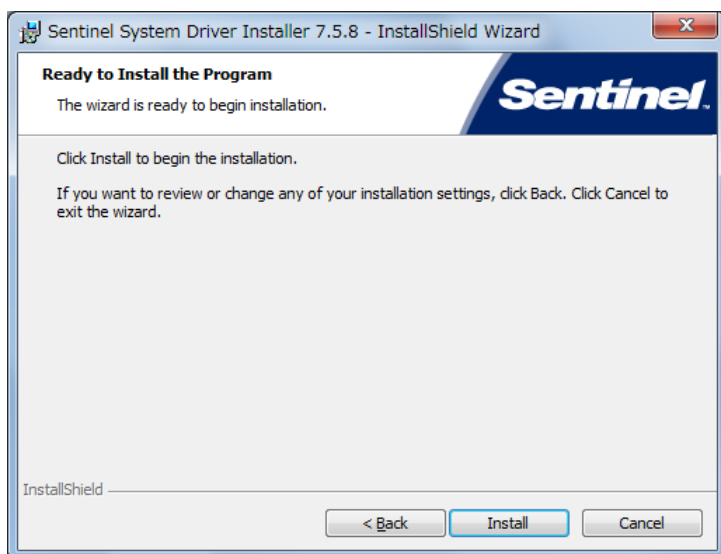
メンテナンスを行う場合、Modify(変更)、Repair(修復)、Remove(削除)の機能を選択します。



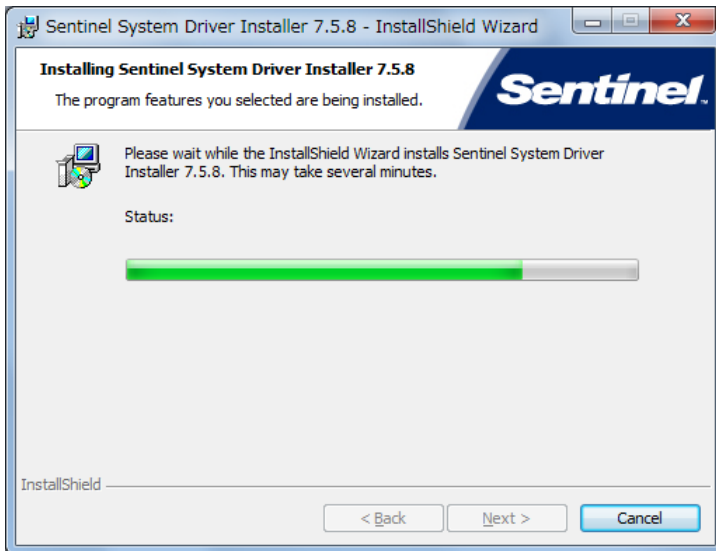
使用許諾のダイアログが表示されますので、**I accept**～(同意)を選択し、「Next」をクリックします。



インストールを Complete(全て)にするか Custom(カスタム)かを選択します。ここでは、**Complete** を選択し、「Next」をクリックします。



「Install」をクリックします。

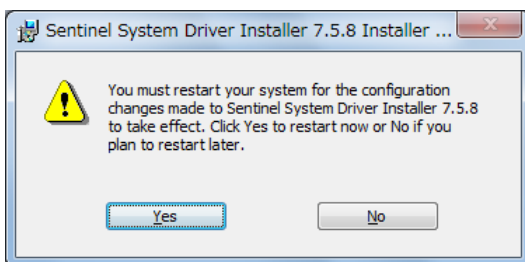


インストール状況が表示されます。



インストールが完了すると左の画面が表示されます。

「Finish」をクリックしウィザードを終了します。



再起動が必要な場合メッセージが表示されます。「Yes」をクリックし再起動します。

## 2.2.2 プロテクトドライバのアンインストール方法

[コントロールパネル]—[プログラムと機能]より、「Sentinel System Driver Installer 7.5.8」を選んで削除して下さい。削除を行った後には必ずコンピュータを再起動して下さい。





### 3. ネットワーク版

---



## 3.1 ハードウェアプロテクタの接続

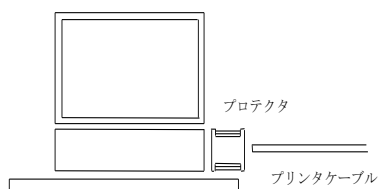
### 《注意事項》

USB タイプのハードウェアプロテクタをご使用の場合はハードウェアプロテクタを接続する前に、プロテクトドライバを必ずインストールして下さい。

ネットワーク版には、ALADDIN 社製ハードウェアプロテクタを用いています。ネットワーク版ハードウェアプロテクタは、サーバーとなるコンピュータに接続する必要があります。

### 25ピンタイプの場合

25ピンタイプのハードウェアプロテクタの場合、コンピュータの平行ポートに直に接続します。もしも、そのコンピュータにプリンタなどの周辺機器が接続されている場合は、ハードウェアプロテクタの後ろに接続して下さい。



- ※ 後述する「ライセンスマネージャ」及び、「デバイスドライバ」、必要であれば「モニタ」などのソフトウェアをインストールします。  
尚、クライアント側のコンピュータには、「3.ネットワーク版」に記載されている項目の手続きは必要ありません。必要なアプリケーションのみインストールして下さい。

## 3.2 ライセンスマネージャ及びデバイスドライバについて

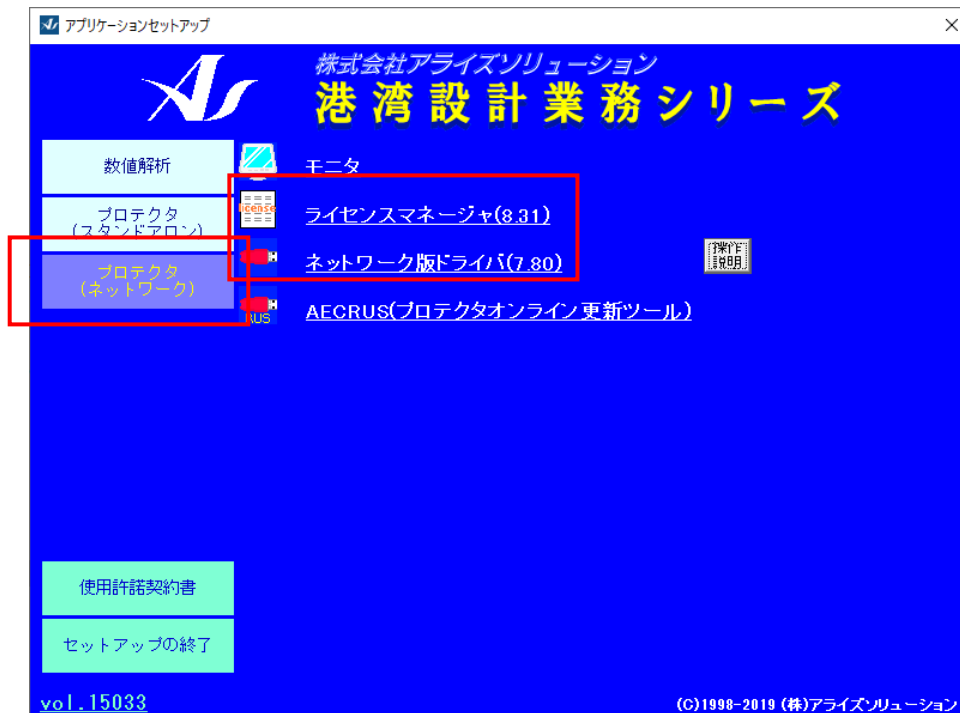
### 3.2.1 ライセンスマネージャについて

ライセンスマネージャは、ネットワーク上のアプリケーションのライセンス管理を行うアプリケーションです。ネットワーク版ハードウェアプロテクタを接続したコンピュータ(サーバー)にインストールしておく必要があります。弊社アプリケーションをネットワークモードで起動する場合は、ライセンスマネージャがサーバー上で起動している必要があります。

### 3.2.2 デバイスドライバについて

デバイスドライバは、ハードウェアプロテクタとプロテクトされたアプリケーションの間のインターフェイスの役目を担います。つまり、プロテクトされたアプリケーションは、このデバイスドライバを仲介としてハードウェアプロテクタとコミュニケーションを行います。したがって、デバイスドライバをインストールしなければ、アプリケーションは、ハードウェアプロテクタを正常に認識できません。

デバイスドライバは、ハードウェアプロテクタが接続されているコンピュータ(サーバー)にインストールして下さい。

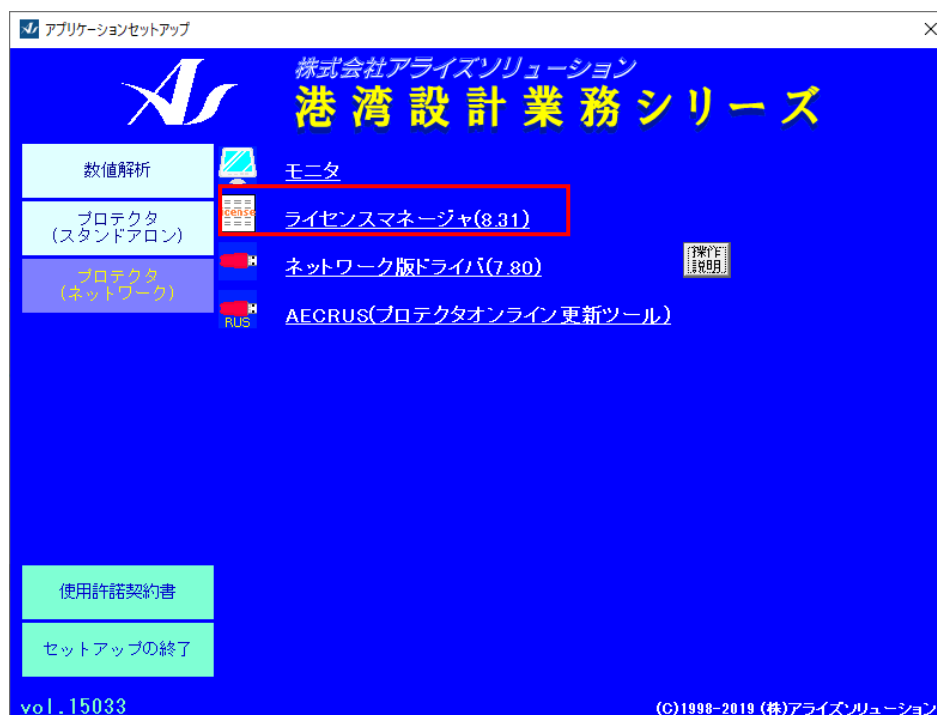


※USB タイプのプロテクタの場合、インストールする際は、必ず USB プロテクタを外した状態で行って下さい。

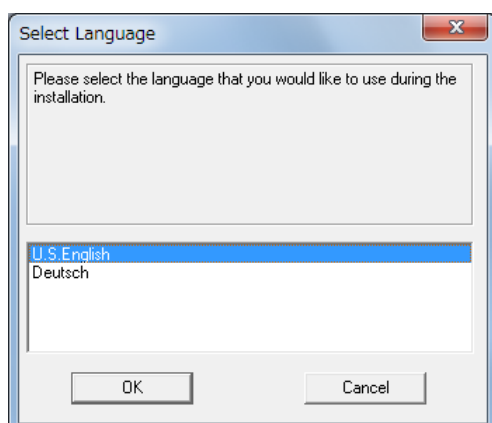
### 3.2.3 ライセンスマネージャ・デバイスドライバの導入方法

弊社アプリケーションのCD-Rを挿入して下さい。自動的にセットアッププログラムが起動します。もしも自動的に起動しない場合は、Windows のスタートボタンをクリックし、《ファイル名を指定して実行》で「Q:AUTORUN.EXE」を入力し、リターンキーを押して下さい。(Q は、CD-ROM 装置のドライブ)

画面例) 港湾設計業務シリーズ



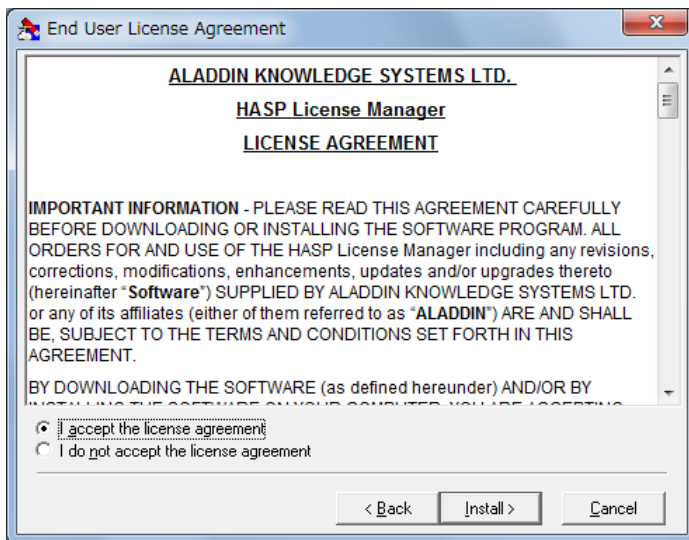
「ライセンスマネージャ(8.31)」に、マウスカーソルを移動し左ボタンをクリックして下さい。



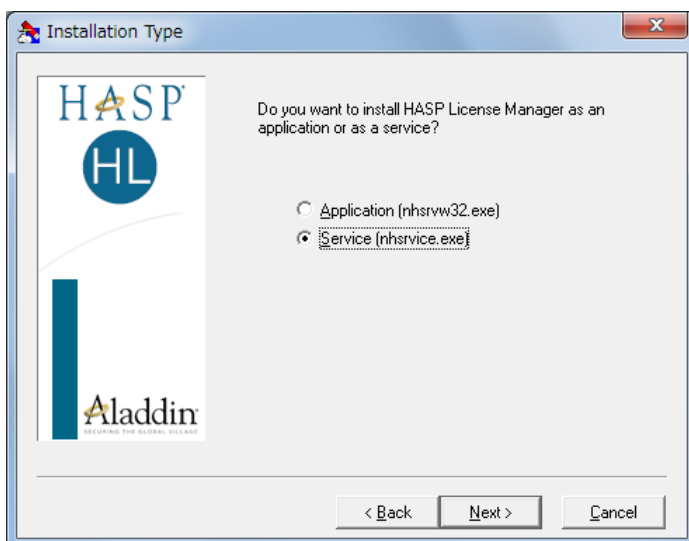
インストールプログラムが起動し、言語の選択メッセージが表示されます。  
「U.S.English」を選択し、「OK」をクリックします。



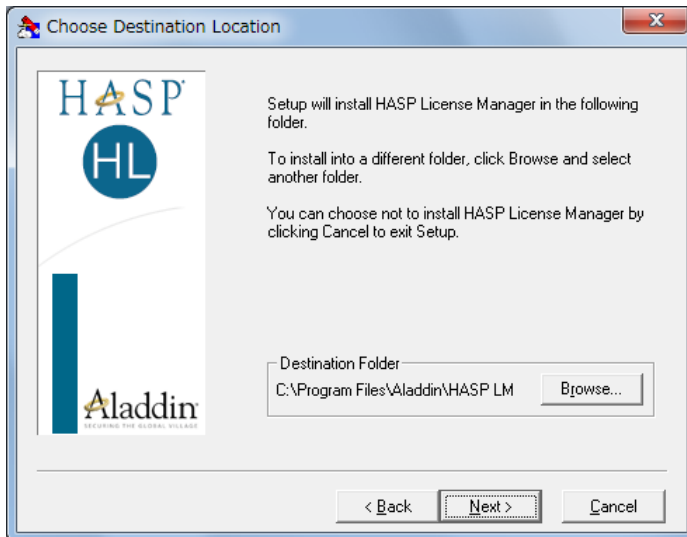
引き続き、“ようこそ”の画面が表示され、今からセットアップを行うライセンスマネージャのバージョンが表示されます。「Next」をクリックします。



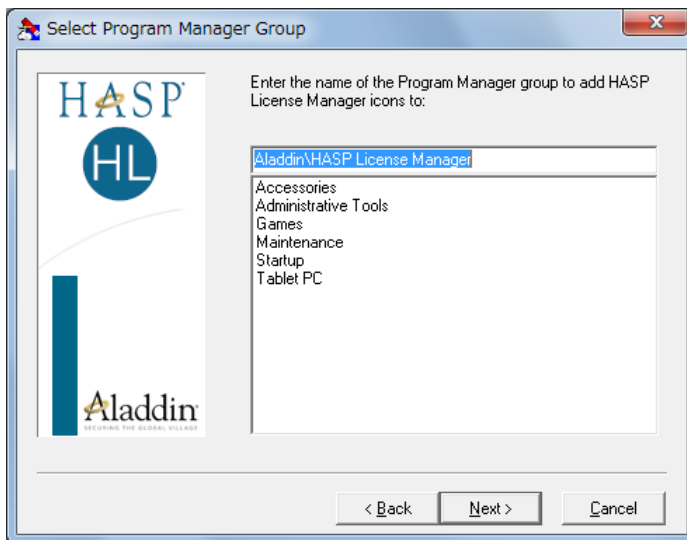
使用許諾の画面が表示されます。「I accept the license agreement」を選択し、「Install」をクリックします。



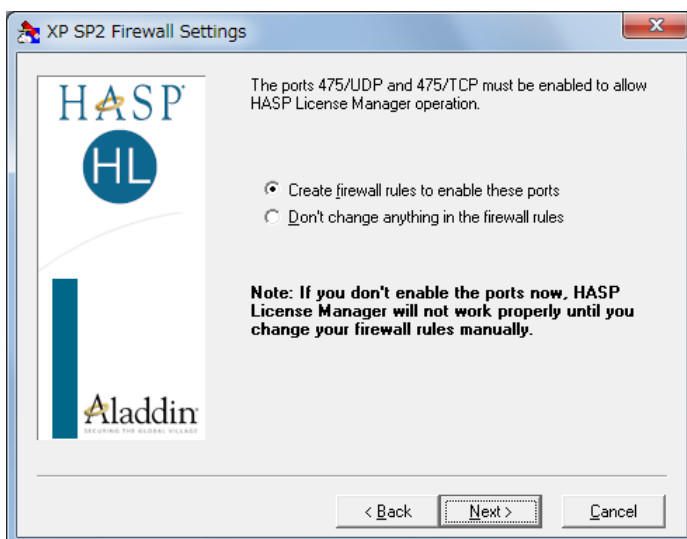
ライセンスマネージャの起動タイプを選択します。「Service」を選択し、「Next」をクリックします。



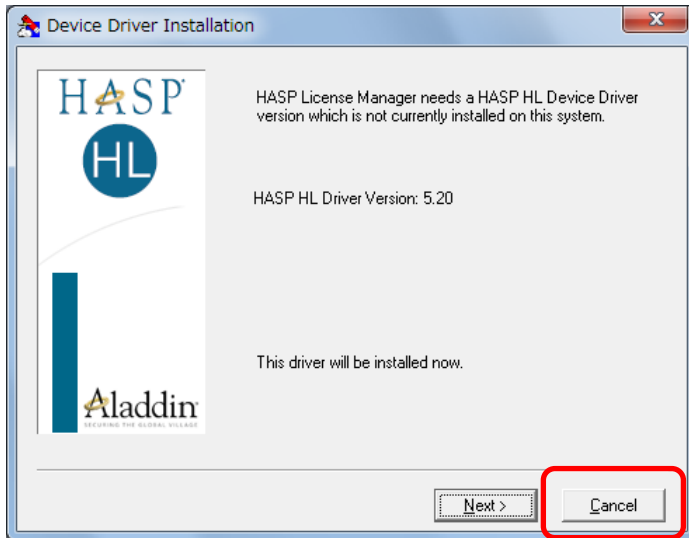
ライセンスマネージャのインストール先を指定します。  
通常は、インストール先フォルダを変更せず、そのまま「Next」をクリックします。



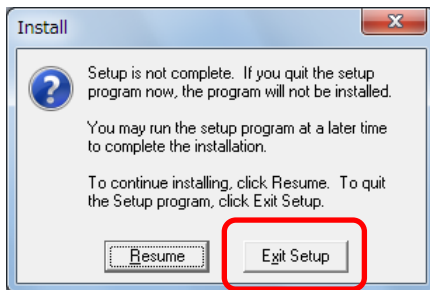
ライセンスマネージャのスタートメニューへの登録名を指定します。  
通常は、登録名を変更せず、そのまま「Next」をクリックします。



Windows XP SP2 から適用されたファイアウォール機能へ、ライセンスマネージャが使用するデフォルトの通信ポート(#475)を使用可能にする設定を行うダイアログ画面が表示されることがあります。  
初期設定で「Create firewall rules to enable these ports」が選択されていますので、そのまま「Next」をクリックします。  
Windows ファイアウォールにポートの設定が行われます。

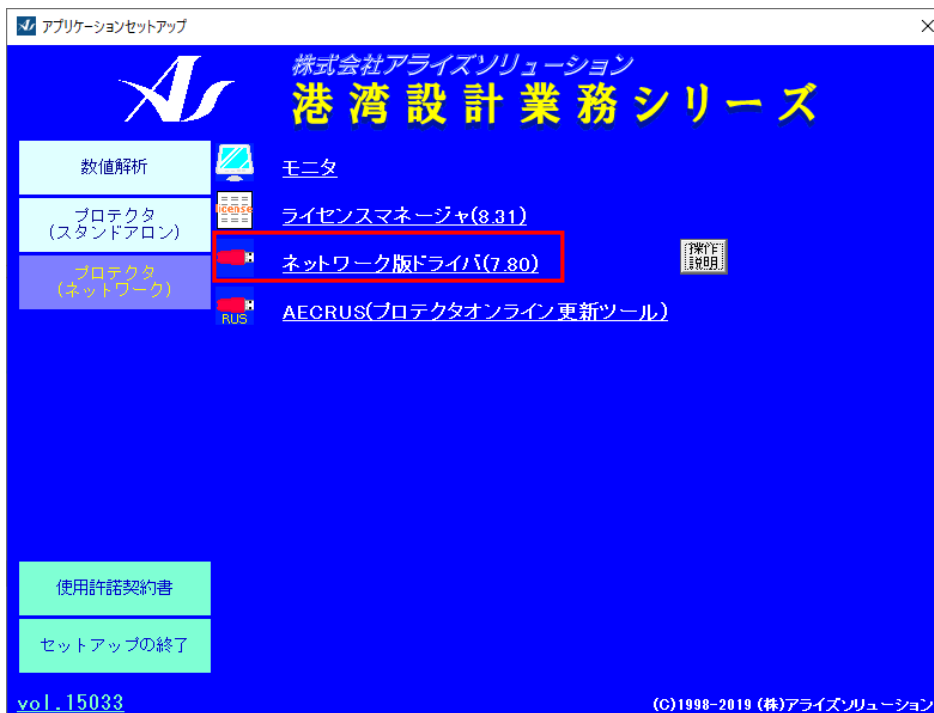


続いて、デバイスドライバ 5.20 のインストールとなりますが、別途ドライバ 6.60 をインストールするため「Cancel」をクリックします。

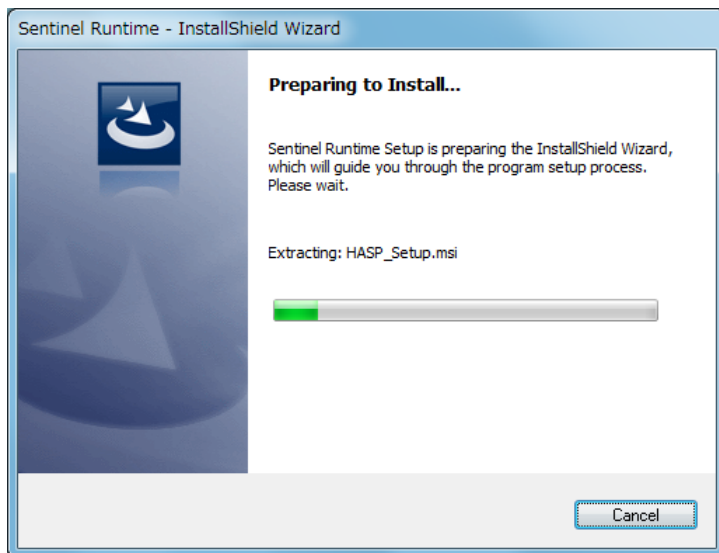


セットアップ終了の確認画面が表示されます。「Exit Setup」をクリックします。

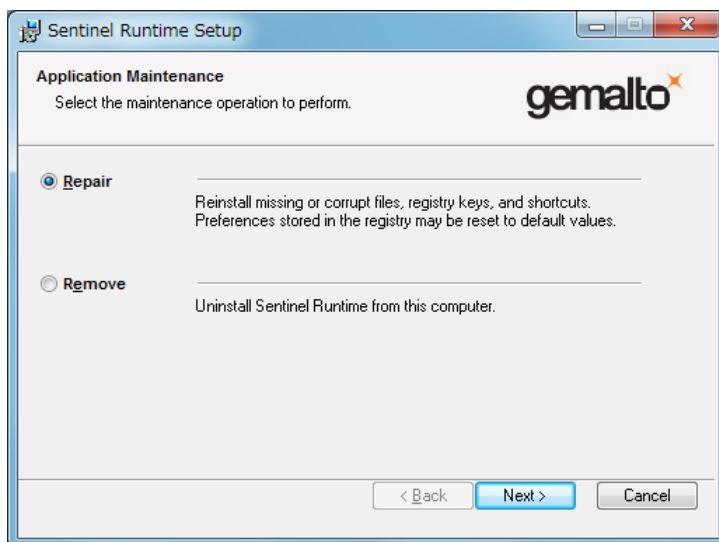
引き続きデバイスドライバをインストールします。CD メニューより「ドライバ(7.80)」にマウスカーソルを移動し左ボタンをクリックして下さい。インストールプログラムが起動します。







インストール準備の画面が表示されます。



既にドライバがインストールされている場合、ドライバのメンテナンス画面が表示されます。

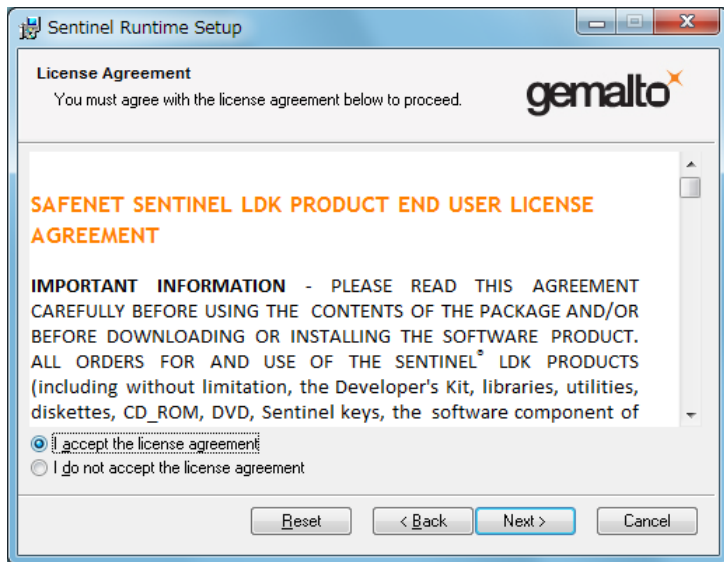
メンテナンスが必要であれば、「Cancel」ボタンでインストールを終了して下さい。

メンテナンスを行う場合、Repair(修復)、Remove(削除)の機能を選択します。

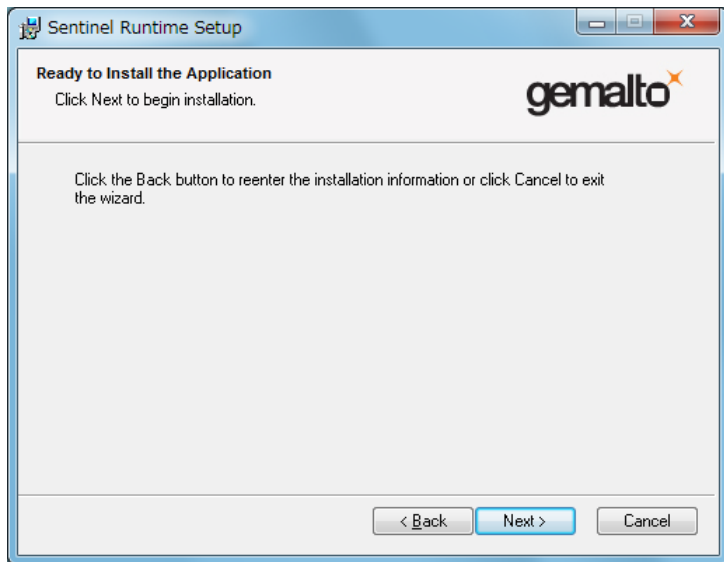


ドライバインストールの確認画面が表示されます。

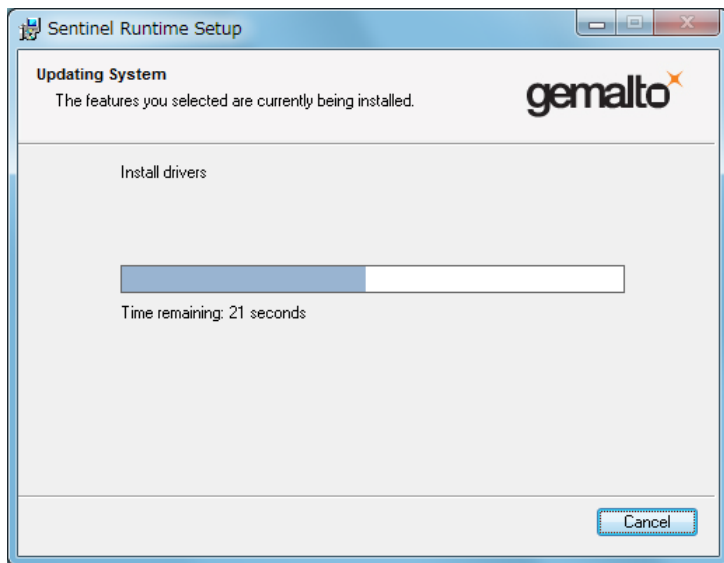
「Next」をクリックします。



使用許諾の画面が表示されます。  
「I accept the license agreement」を選択し、「Next」をクリックします。



インストール開始の確認画面が表示されます。  
「Next」をクリックします。



インストール状況が表示されます。



インストールが完了すると左の画面が表示されます。

「Finish」をクリックし終了します。

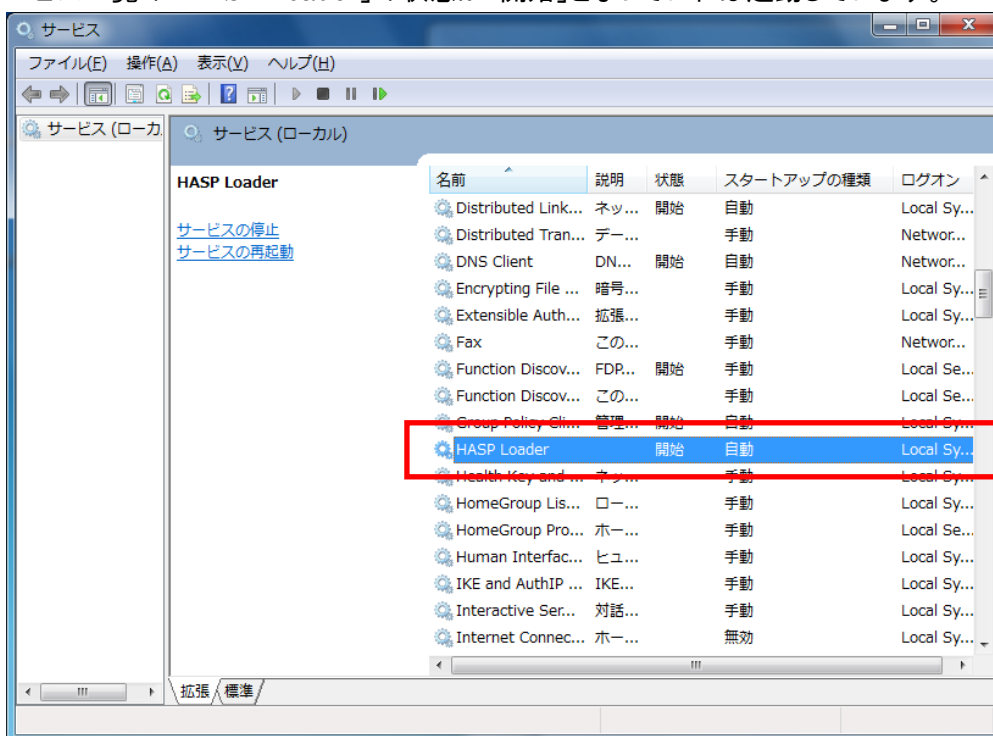
### 3.2.4 ライセンスマネージャ・ドライバのアンインストール方法

[コントロールパネル]—[プログラムと機能]より、「HASP License Manager」及び、「Sentinel Runtime」を選んで削除して下さい。

### 3.2.5 ライセンスマネージャの起動確認

ライセンスマネージャの起動を確認する場合、「コントロールパネル」—「システムとセキュリティ」—「管理ツール」—「サービス」よりサービスを起動して下さい。

サービス一覧の「HASP Loader」の状態が「開始」となっていれば起動しています。



### 3.3 MONITOR について

MONITOR は、現在稼動しているネットワーク上のアプリケーションのライセンスを確認できるツールです。本ツールは、アプリケーションの動作には無関係なので必要な場合インストールする必要はありません。

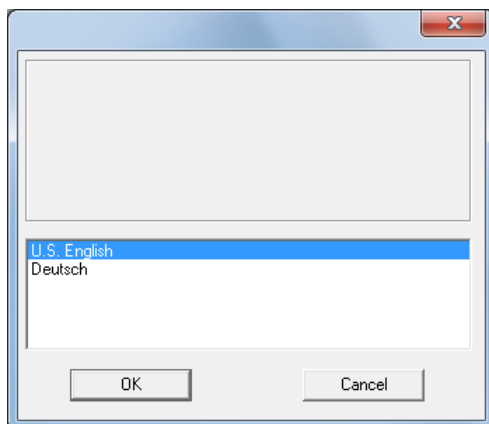
#### 3.3.1 MONITOR のインストール方法

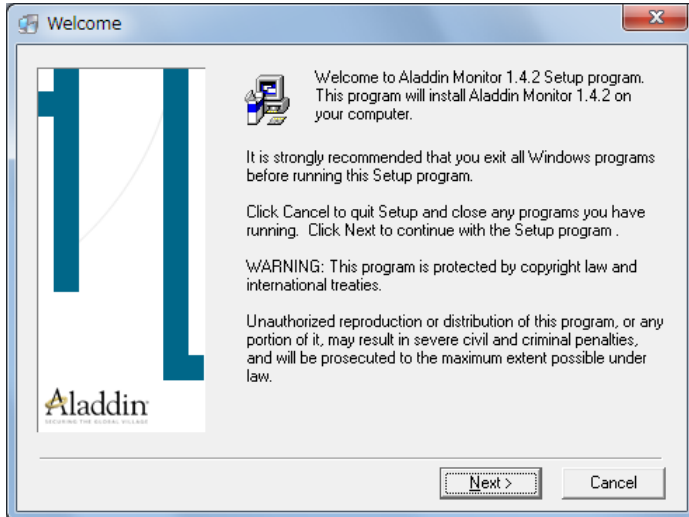
弊社アプリケーションのCD-Rを挿入して下さい。自動的にセットアッププログラムが起動します。もしも自動的に起動しない場合は、Windows のスタートボタンをクリックし、《ファイル名を指定して実行》で「Q:AUTORUN.EXE」を入力し、リターンキーを押して下さい。(Q は、CD-ROM 装置のドライブ)

画面例) 港湾設計業務シリーズ

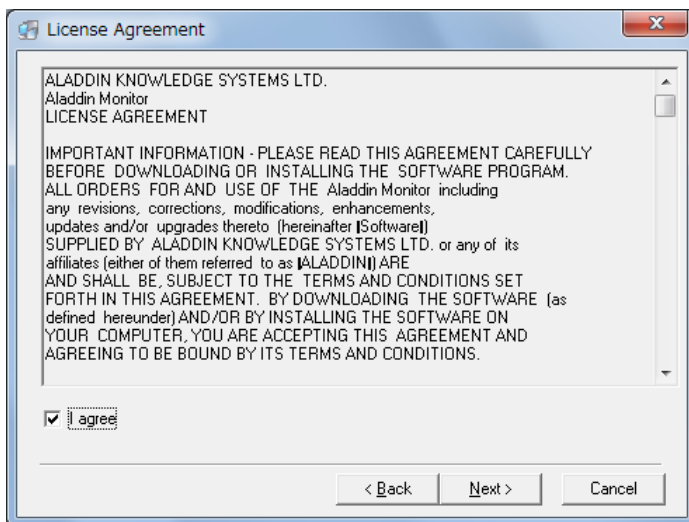


インストールに用いる言語を指定します。通常、「U.S.English」を選択し、OK ボタンを押して下さい。

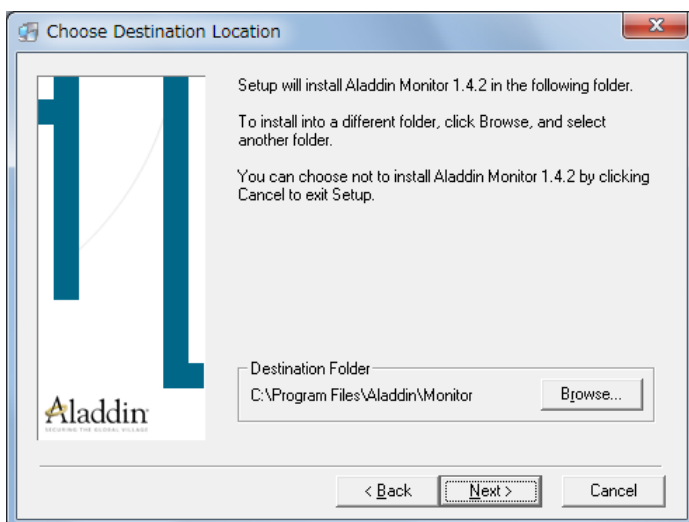




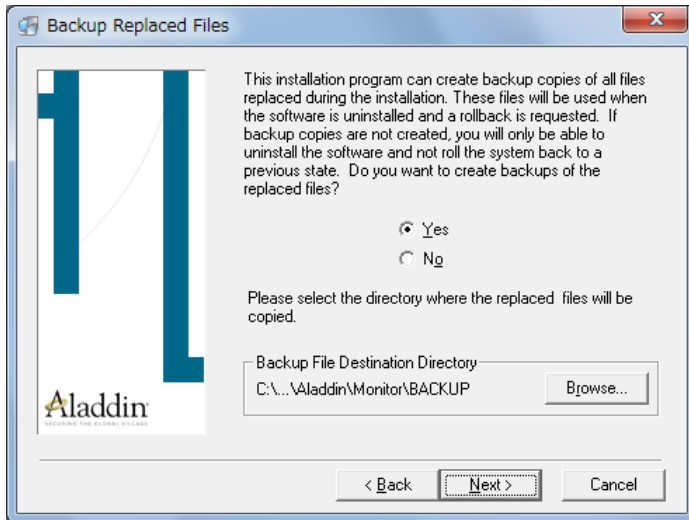
モニタのインストール確認メッセージが表示されます。「Next」をクリックします。



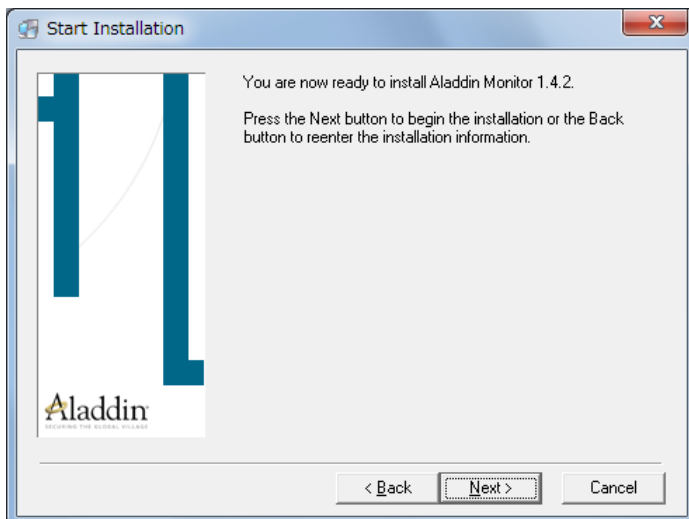
使用許諾のダイアログが表示されますので、I agree を選択し、「Next」をクリックします。



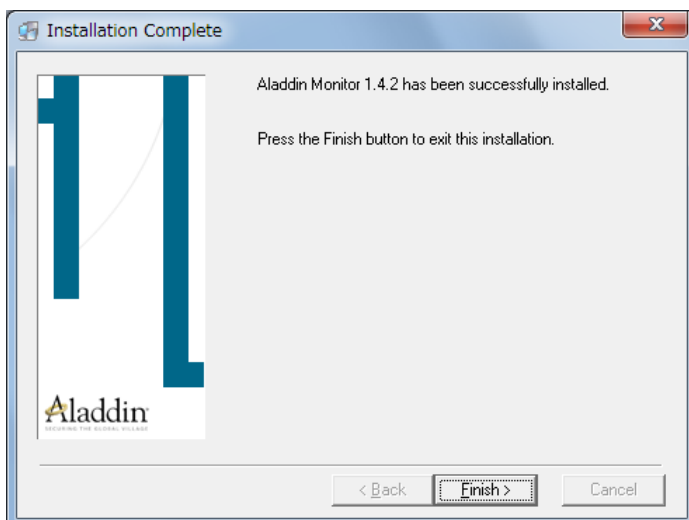
モニタのインストール先を指定します。通常は、インストール先フォルダを変更せず、そのまま「Next」をクリックします。



インストール中の全てのファイルのバックアップを取るかどうかの確認メッセージが表示されます。通常は、何も変更せず、そのまま「Next」をクリックします。





モニタをインストールする準備が整いました。というメッセージが表示されます。問題がなければ、「Next」をクリックします。モニタのインストールが開始されます。

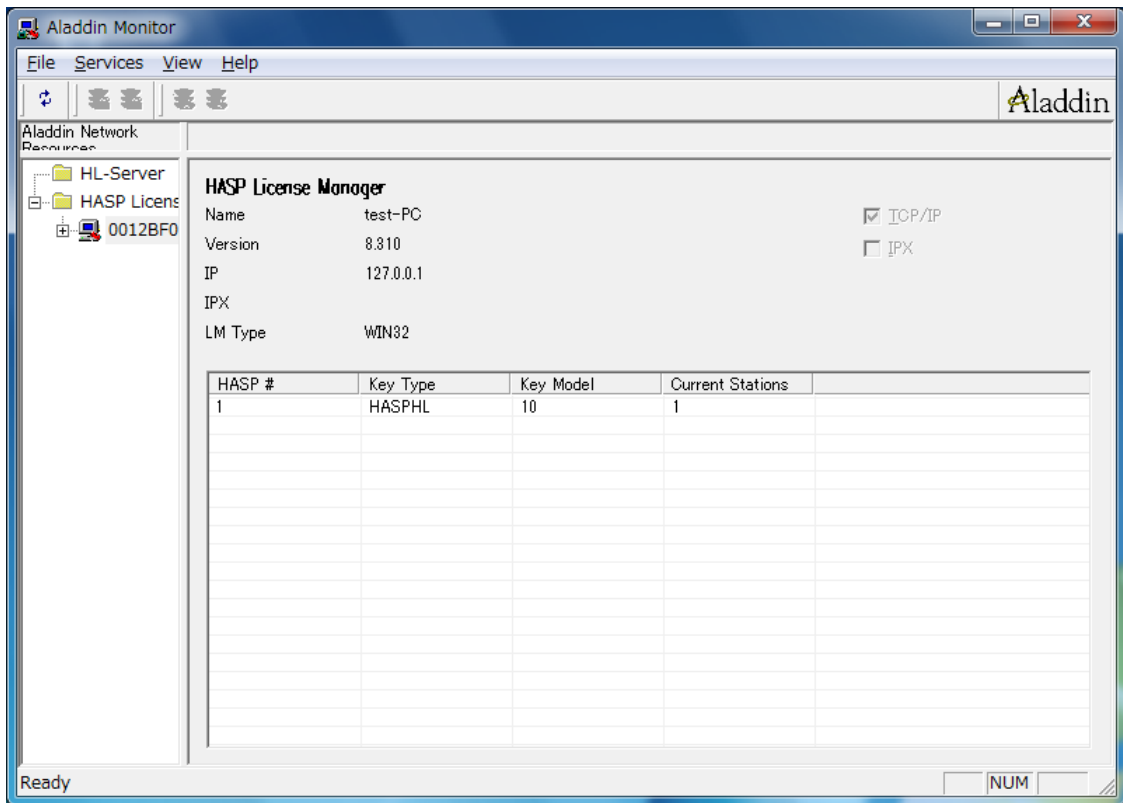


インストールが完了すると左の画面が表示されます。

「Finish」をクリックし終了します。

MONITOR を起動して下さい。「スタート」-「プログラム」-「Aladdin」-「Monitor」-「AKS Monitor」を指定して下さい。

画面左のツリーに表示されている  を選択すると、現在のライセンスマネージャの詳細が表示されます。また、 を選択すると現在起動しているコンピュータのユーザー名、アプリケーションのライセンス数などが表示されます。







## 4. アプリケーションの設定

---



## 4.1 ライセンス認証方法の選択

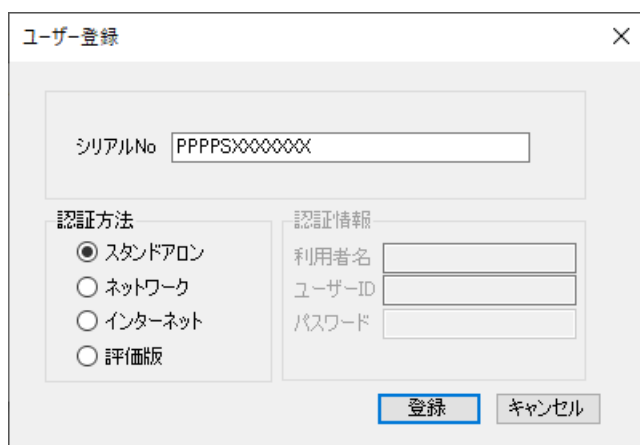
弊社システムをご使用の場合、ご購入時に登録していただいた方法により、ライセンス認証を行っていただく必要があります。該当する方法を参照のうえ、ライセンス認証を行ってください。

### 《港湾設計業務シリーズ》

1. 動作モードを変更するアプリケーションを起動して下さい。
2. 【ヘルプ(H)】メニュー内の【バージョン情報(A)】をクリックします。



3. [ユーザー登録]ボタンをクリックします。



4. 弊社よりお知らせしている製品のシリアルNo(半角英数12文字)を入力します。
5. 引き続き、認証方法をマークします。購入時に選択した方法を選択し、[登録]ボタンをクリックしてください。「スタンドアロン」・「ネットワーク」の場合には、認証確認が実行され、正常に動作すれば、バージョン情報の画面に戻ります。
6. 認証方法が「インターネット」の場合、引き続き次の認証情報を入力する必要があります。

利用者名 : 利用者を識別するための任意の名称です。Web 管理画面に表示され、現在使用中であることがわかります。

ユーザーID : システムを動作させるためのユーザーID を入力します。不明な場合には、本システムを管理している御社管理者にお問い合わせを確認してください。

パスワード : システムを動作させるためのパスワードを入力します。不明な場合には、本システムを管理している御社管理者にお問い合わせを確認してください。

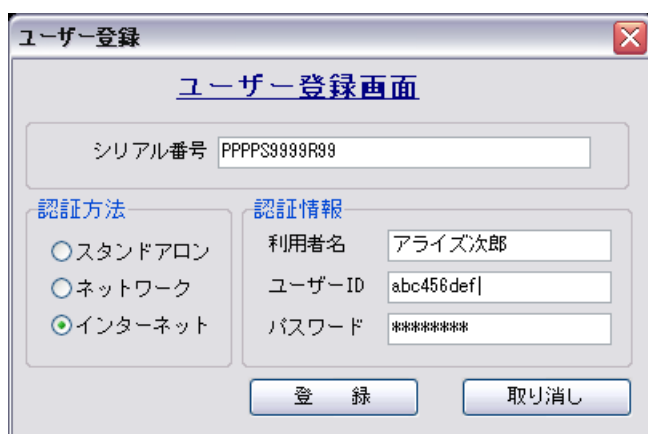
入力し終わったら、[登録]ボタンをクリックしてください。認証確認が実行され、正常に動作すれば、バージョン情報の画面に戻ります。

## 《土木設計業務シリーズ》

1. 動作モードを変更するアプリケーションを起動して下さい。
2. 【ヘルプ(H)】メニュー内の【バージョン情報(A)】をクリックします。



3. [ユーザー登録]ボタンをクリックします。



4. 弊社よりお知らせしている製品のシリアルNo(半角英数12文字)を入力します。
5. 引き続き、認証方法をマークします。購入時に選択した方法を選択し、[登録]ボタンをクリックしてください。「スタンドアロン」「ネットワーク」の場合には、認証確認が実行され、正常に動作すれば、バージョン情報の画面に戻ります。
6. 認証方法が「インターネット」の場合、引き続き次の認証情報を入力する必要があります。

利用者名 : 利用者を識別するための任意の名称です。Web 管理画面に表示され、現在使用中であることがわかります。

ユーザーID : システムを動作させるためのユーザーID を入力します。不明な場合には、本システムを管理している御社管理者に問い合わせ確認してください。

パスワード : システムを動作させるためのパスワードを入力します。不明な場合には、本システムを管理している御社管理者に問い合わせ確認してください。

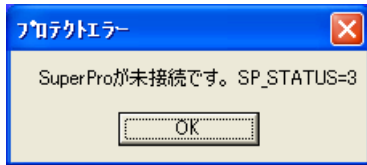
入力し終わったら、[登録]ボタンをクリックしてください。認証確認が実行され、正常に動作すれば、バージョン情報の画面に戻ります。

7. 引き続き、【ヘルプ(H)】メニュー内の【拡張機能追加(O)】をクリックし、使用する拡張機能を設定してください。

## 4.2 エラーの対処(スタンドアロン版)

ユーザー登録を実行した場合に、プロテクタのチェックが実行されますが、その際プロテクタが正常に認識されない場合「SuperPro が未接続です。」や「プロテクタが見つかりませんでした。」などのエラーメッセージが表示される場合があります。

例)「SuperPro が未接続です。」エラーメッセージ



その場合には、次ページにある操作を試してみてください。

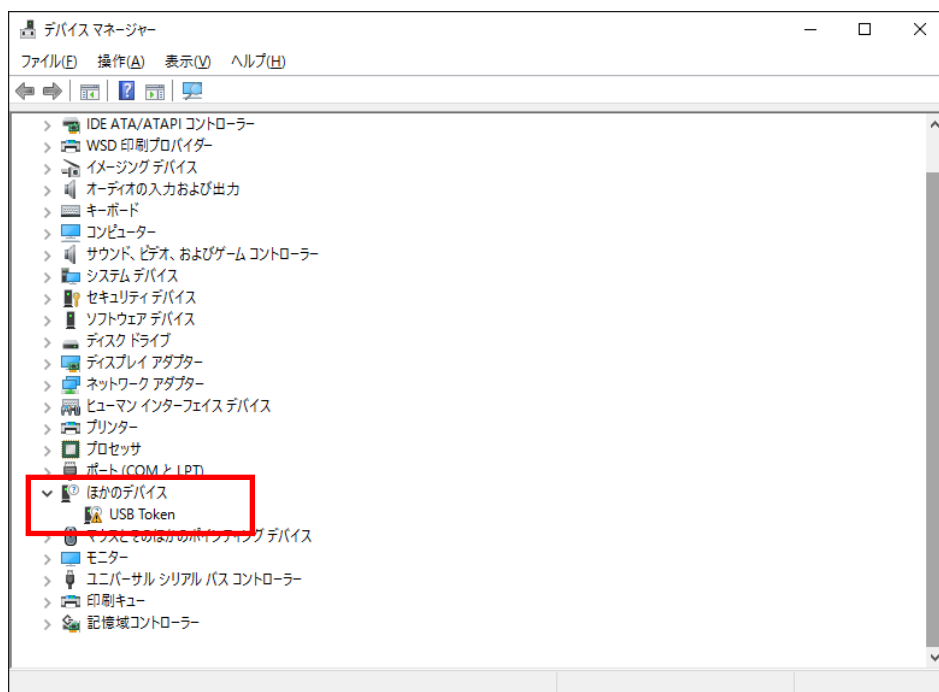
## Windows10 の場合

- ① プロテクタがPC本体に接続されているか確認する。
- ② スタンドアロン用プロテクトドライバが正常にインストールされているか確認する。  
「コントロール パネル」 - 「プログラム」 - 「プログラムと機能」を行い、一覧の中に次画面のプログラムが登録されているか確認する。



登録されている場合、正常にプロテクタを認識していないと考えられますので、一度アンインストールを行って下さい。一覧になければ、プロテクトドライバがインストールされていないことを示しています。

- ③ 「コントロール パネル」 - 「ハードウェアとサウンド」 - 「デバイス マネージャ」において！マークの付いた【ほかのデバイス】があるかどうか確認します。



「ほかのデバイス」があれば、「USB Token」をマウスの左ボタンで選択し、反転させてからDELキーにより削除を行います。その後、プロテクタをPCから取り外します。

- ④ 2.2.1 プロテクトドライバの導入方法を参照し、再度プロテクトドライバを導入してください。